

# 園だより 11月号



YMCA オリーブ保育園

2020年11月2日 発行

園長

矢野 久美

## 今月のねがい

- \*木の実や落ち葉などの自然にふれる中で五感を通して季節を感じる。
- \*思いや主張を受け止めてもらいながら安心して生活する。

## 讃美歌

どんどこんどこ  
ありがとう

真っ青な秋晴れの空が広がり気持ちの良い日が続く中、朝から園庭で元気いっぱい遊ぶ子どもたちの声と笑顔に自然と心が和みます。

いつどんな時も子どもたちはこの青空のような広く美しい心で、私たち大人の心を癒し包み込んでくれる本当にありがたい存在だと、このコロナ禍において痛切に感じています。

お散歩に出かける日が多くなり、子どもたちは帰ってくるなり公園で見つけた宝物をポケットから取り出して得意気に見せてくれます。そしてその宝物である、まつぼっくりや木の枝を、大切に靴箱にしまっています。毎年の事ながら子どもたちは季節の変化を真っ先に感じ、自然を保育園に運んできてくれて、いつも園内をあたたかな空気にしてきています。

色づき始めた園庭の木に、いつの間にか登れるようになった3歳児クラスの男の子たちや、赤ちゃんだった0歳児クラスの子どもたちが小走りをしてながら瞳を輝かせて探索をしている姿を目にすると、どのクラスの子どもたちからも大きな成長を感じられ、一緒に積み重ねてきた時間の大切さを実感する毎日です。

どんなに世界や社会が変わっても、子どもたちに与えられた時間は平等であり、成長のスピードも変わることはありません。

コロナ禍にあっても子どもたちの嬉しいことや楽しいこと、今しかできない、

保育園だからこそできる集団での経験を、これからも模索しながら過ごしていきたいと思っております。



## 11月の第4木曜日が収穫感謝の日です

### 収穫感謝祭

17世紀の初めイギリス教会の激しい迫害を受けたクリスチャンの人々は、オランダに逃れました。それでも迫害されたため信仰の自由を求め、老朽船のメイフラワー号に乗って120名がアメリカを目指し大西洋を渡りました。途中嵐にあたり水や食べ物の不足に悩みながら3ヶ月かけて厳冬のマサチューセッツ州プリマスに上陸しました。寒さと餓えで50人がなくなりました。春になり近くに住むネイティブアメリカンたちが種を分けてくれたり農耕や狩猟の仕方を教えてくれ、秋に収穫が得られたことから彼らはネイティブアメリカンを招いて感謝の礼拝を捧げ食事をともにしたのが収穫感謝祭の始まりといわれています。

私たちは毎日食べ物に不自由することなく生活していますが、その食べ物である穀物、野菜、果物を与えてくださる神様に感謝し、その思いを子どもたちに伝える時を持ちたいと思います。

# 11月のスケジュール

## 食育

日にち	曜日	行事
4日	水	体操4・5歳
10日	火	英語2・3歳
12日	木	身体測定
17日	火	英語4・5歳
18日	水	体操2・3歳
20日	金	0歳児検診
24日	火	英語2・3歳
25日	水	歯科健診
26日	木	避難訓練(消防訓練)
30日	月	礼拝



ありがたい気持ちをもって、野菜を見たり触ったり給食のお手伝いをしたりしながら各クラスで収穫感謝祭を行う予定です



## お知らせ・お願い

- ◆感染予防の為、幼児クラスのコート類は用意してある黄色の袋にお入れ下さい。
- ◆保育園の玄関前は歩道が狭いため、降園時に門から出る際は通る自転車に十分お気をつけください。また、駐輪の際は保育園横の駐輪場をご利用ください。玄関前の公道に自転車を止めると、歩行者の方の妨げになってしまう為、短時間であっても園の駐輪場をご利用ください。
- ◆降園時に園庭で遊ぶのは危険防止の為ご遠慮いただきますよう、皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。
- ◆19:00以降のお迎えの際はインターホンを鳴らしてお入りください。
- ◆保育園内では保護者の方々にマスクの着用、および玄関での手指消毒のご協力を引き続きお願いいたします。また、熱がなくても咳がひどい、食欲がないなど、お子さまの体調がすぐれない時は、ご自宅にて様子を見ていただくよう、ご協力をお願いいたします。
- ◆11月4日(水)より朝、夕の延長時間をホールからちゅうりっぷのお部屋に戻します。  
朝8時まで：ちゅうりっぷ組  
夕19時まで：幼児はゆり組 19時以降：ちゅうりっぷ組 ※幼児クラスの活動のお知らせボードは1階の事務所前のホワイトボードに移動します。

※寒くなってきましたので朝、夕方はホールではなく、通常通り保育室となります。引き続き保育室内には入らないようご協力をお願い致します。

致します。

